

令和4年度 第5回 大阪府都市公園指定管理者評価委員会 会議概要

1. 日時：令和5年3月17日（金曜日） 午後3時30分～午後5時15分

2. 場所：大阪府庁別館7階

3. 出席者：

柴田委員長、大藪委員、坂口委員、千葉委員、野村委員 5名

4. 議題

- (1) 指定管理業務の評価について
- (2) 指定管理優良業務表彰について
- (3) その他事項

5. 主な議事内容

(◇：委員 ⇒：事務局)

(1) 指定管理業務の評価について

- ・評価に関する内容について、前回委員会からの変更点を中心に、事務局より説明
- ・「B」又は「C」評価の案件について、今後の改善点について説明。

◇今年度、倒木による物損事故がありました。全ての公園で、いろんな木が老齢化しており、リスクは増加していることを改めて認識していただき、樹木医による点検要否は別にしても、公園での樹木点検を行った方がいいように感じました。

⇒管理要領を改訂して、今年度から各公園で定期的に樹木点検を行うこととしている。

スタートしたばかりなので、細かな取り決めは、今後の課題であるが、現場を動かしながら、改善点等の共有を図り、点検体制等を確立させていきたい。

◇評価票及び対応改善シートに関して、本内容で了解。

⇒最終的な文言の修正などについては、本委員会以降は委員長預かりとする。

(2) 指定管理優良業務表彰について

- ・選定の流れについて、事務局より説明後、各土木事務所よりプレゼンを実施

<山田池公園>

◇大学の研究への協力である、公園の様々な機能を紹介するデジタルマップの作成は、デジタル技術の活用観点で、面白い取組。

<久宝寺緑地>

◇50周年事業誌発行で公園の歴史を残す取り組みは、他の公園に先駆けて非常に高く評価できる。

<住吉公園>

◇長年にわたって、機関紙「歴史探訪」を発行、公園開設150周年記念に向けた歴史フォーラムを開催するなど、住吉公園の歴史的魅力の発信は評価できる。クロマツ更新のお別れ会の取り組みもおもしろい。

<石川河川公園>

- ◇河川環境の保全に立脚した学習支援は、評価できる。
- ◇希少種保護マニュアル作成で、長年データを積み重ねてきており、生態系保全の観点で評価できる。

<せんなん里海公園>

- ◇5年間で、本来せんなん里海がもっている生物資源を、ちゃんと公園の資源として有効に使えるようになり、今年度はその成果が見えるようになった年。SNSで話題になる景観づくりにも取り組んでおり、評価できる。

<採点結果について>

- ◇最も点数が高いのは、久宝寺・住吉・せんなん里海で同点。次点で石川河川公園。
- ◇同点の3公園の中で、各委員の3段階評価で評価1点がないのが、久宝寺緑地。
- ◇よって、久宝寺緑地が知事賞。住吉公園、石川河川公園、せんなん里海公園の3者を特別賞に選定することとする。
- ◇久宝寺緑地については、開設50年記念誌の取り組みや、肥後シャクヤクの生産者と新たな交流の取組みについて、(1) 普遍性や、(3) その他特筆すべき優れた取組みとして高く評価したい。
- ◇住吉公園は、「歴史探訪」の公開フォーラムの開催や、クロマツの更新時に近隣住民とお別れ会を開催など、地域との繋がりを深める取組みで、(1) 普遍性に該当する取組みとして評価したい。
- ◇石川河川公園は、継続的に希少種保護活動を続け、「希少種保護マニュアル」を策定。ホームページ上での公開、河川生態系の保全及び普及啓発の取組みで、(1) 普遍性に該当する取組みとして評価したい。
- ◇せんなん里海公園は、新たな花の景観づくりを行い、SNSでも反響が生まれ、公園PRに貢献、地域の自生植物の保全の取組みで、(1) 普遍性に該当する取組みとして評価したい。

⇒いただいた意見を取りまとめ、最終、講評資料として、委員長に確認の上、4月中には公表していきたい。